

PLAZA
FESTIVAL
2022

PLAZA映像祭
2022/10/7 FRI-9 SUN

入場料金(前売・当日とも)

- 上映作品 01 『アメリカン・ユートピア』 ¥500
- 上映作品 02 映像作家 大西景太の“音のかたち” ¥1,800
映像作家 大西景太氏 トーク+VJライブ付
- 上映作品 03 音の映画 アノーチャ・スウィッチャー『暗くなるまでには』 ¥1,000
映画批評家 樋口泰人氏 トーク付
- 上映作品 04 『スクール・オブ・ロック』 ¥500
- 上映作品 05 映画をつくる劇伴音楽の力 『ワンダーウォール 劇場版』上映 + ゲスト 岩崎太整 (作曲家) ¥1,800
作曲家 岩崎太整氏 トーク付

※税込・全席指定
※ご購入方法により手数料がかかる場合がございます。
詳しくはお買い求め店舗へお問い合わせください。
※車椅子席をご希望の方は道新プレイガイドへお問い合わせください。
TEL 0570-00-3871
※未就学児入場不可
※前売券完売の際は当日券の販売はございません



ご来場の皆様へ
ご協力をお願いと
注意事項

プラザメンバーズ先行販売

2022年 7/29 (金) 10:00 より

【Web会員限定】

●札幌市民交流プラザメンバーズサイト
<https://sapporo-cp-members.jp/>



【DM会員限定】※会員カードをご用意ください

●市民交流プラザチケットセンター窓口
(市民交流プラザ2F/10:00-19:00 休館日を除く)

●道新プレイガイド
TEL 0570-00-3871
(道新本社1F/10:00~17:00 日曜定休)

一般販売

2022年 8/5 (金) 10:00 より

●札幌市民交流プラザメンバーズサイト
<https://sapporo-cp-members.jp/>



●市民交流プラザチケットセンター窓口

●道新プレイガイド
TEL 0570-00-3871
<https://doshin-playguide.jp/>

札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー

ニトリ、アイングループ、イオン北海道、札幌田中病院、TAIYO GROUP、富士メガネ、CO・OP共済、札幌丸井三越、
北央病院、北星学園大学、北海道コカ・コーラボトリング、北海道新聞社、ホテルモントレグループ、練成会グループ

あいプラン、MORIHICO、アミノアップ、伊藤組土建、岩倉建設、岩田地崎建設、大通り矯正歯科、札幌駅前通まちづくり会社、札幌大通まちづくり会社、札幌市交通局、札幌都市開発公社、
札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつ、ANA、大和証券、日本航空、福山倉庫、藤女子大学、北海道エアシステム、北海道科学大学、北海道中央バス、北海道テレビ放送、
丸彦渡辺建設、萬田記念財団、三井不動産リアルティ札幌、よつ葉乳業、北海道ガス、會澤高圧コンクリート、旭イノベックス、SOC、遠藤興産、KUMON、三精テクノロジーズ、トーホーエンジニアリング、
北海道グリーンメンテナンス、豊建商、氏家記念こどもクリニック、クリーンアップ、さっぽろ内科・リウマチ膠原病クリニック、サッポロホールディングス、ホクリヨウ、朝日新聞社、アップル札幌手稲店、
アムテック、アルシス、アルスマエヤ、アルファ技研、岩本・佐藤法律事務所、ウエス、H・N・メディック、エイト設計、エメラルド整形外科疼痛クリニック、片桐企業グループ、河合塾、TAT札幌、弁護士法人北空、
KDDIエボルバ、五島冷熱、さくら総合会計、札幌商工会議所、札幌スパインクリニック、札幌デンタルケア、ジャパンテクニカルソフトウェア、庄内こどもの歯科、新札幌駅前内科循環器、蘇春堂形成外科、
大成建設、タイムズ24、みよしの、さっぽろ東急百貨店、内科丹田クリニック、ノース技販、博愛会、ひびき、福祉泌尿器科クリニック、北海道銀行、北海道熱供給公社、北海道マツダ、マウントアライブ、
みにに胃腸内科、南一条脳内科、明治安田生命、元町皮ふ科、山二、吉田記念病院、六書堂、和らいふ、北海道放送、札幌テレビ放送、北海道文化放送、テレビ北海道

札幌文化芸術劇場
hitaru
SAPPORO CULTURAL ARTS THEATER

クリエイティブスタジオ(札幌市民交流プラザ3F)
〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市営地下鉄大通駅 30番出口から西2丁目地下歩道より直結

●チケットに関するお問い合わせ
〈道新プレイガイド〉
0570-00-3871 (10:00~17:00日曜定休)

●その他のお問い合わせ
〈札幌市民交流プラザ〉劇場事業課
011-271-1950 (9:00~17:00休館日を除く)



PLAZA
FESTIVAL
2022

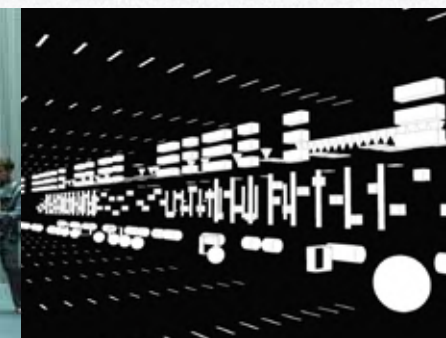
繊細な音響調整による映画上映や、音をアニメーションで視覚化するVJライブ
音で映画に命を吹き込む劇伴の仕事紹介等
音を通して魅力を再発見する映像の冒険へお出かけください

PLAZA
映像祭
2022/10/7 FRI-9 SUN

札幌市民交流プラザ3F クリエイティブスタジオ
札幌市中央区北1条西1丁目(札幌市営地下鉄大通駅 30番出口から西2丁目地下歩道より直結)



爆音上映
『アメリカン・ユートピア』
© 2020 RadicalMedia Production, All Rights Reserved.
¥500



映像作家 大西景太の
“音のかたち”
¥1,800



音の映画 アノーチャ・スウィッチャー・ゴーンボン監督
『暗くなるまでには』
© Electric Eel Films
¥1,000



爆音上映
スクール・オブ・ロック
TM & Copyright © 2003 by PARAMOUNT PICTURES, All Rights Reserved, TM.
© & Copyright © 2004 by Paramount Pictures, All Rights Reserved.
¥500



映画をつくる劇伴音楽の力
『ワンダーウォール 劇場版』上映
+ ゲスト 岩崎太整 (作曲家) © NHK
¥1,800

プラザで、映像をめぐる3日間

札幌文化芸術劇場
hitaru
SAPPORO CULTURAL ARTS THEATER

PLAZA
FESTIVAL
2022

PLAZA 映像祭

2022/10/7 FRI - 9 SUN

クリエイティブスタジオの上映と音響環境をフルに利用した映像プログラムをお送りする「プラザ映像祭」。2022年は、大胆かつ繊細な大音響で映画を体感する上映から、音楽の構造を映像で視覚化するVJライブ、映画をつくる上で欠かせない映画音楽・通称「劇伴」の魅力解説、そして北海道初公開の長編映画まで、映像作品の奥深さに触れる3日間を、ゲストトーク満載でお送りします。プラザ映像祭で映像をめぐる冒険へ、どうぞお出かけください。

10/7
FRI

¥500

TIME TABLE

18:40 開場
19:00 上映開始
20:50 上映終了

上映
作品

01



『アメリカン・ユートピア』



© 2020 RadicalMedia Production. All Rights Reserved.

2021年最も話題をさらった傑作を、
待望の爆音上映！
極上の音響と音量で至福の体験を。

2021年最も話題をさらった傑作のひとつ『アメリカン・ユートピア』。本作の待望の爆音上映が実現！元「トーキング・ヘッズ」フロントマンであるデビッド・バーンが2018年に発表したアルバム「アメリカン・ユートピア」を原案としたブロードウェイのショーを、スパイク・リー監督が映画として再構築。ドキュメンタリーでもなく記録映画でもない、新たなスタイルのライブ映画が完成した。音楽ライブ用の音響機材を使った極上の音響と音量で、至福の体験をお届けします。

監督：スパイク・リー
2020年/アメリカ/107分/英語音声・日本語字幕
提供：株式会社ムービーマネジメントカンパニー
爆音監修：株式会社boid 樋口泰人

10/8
SAT

¥1,800

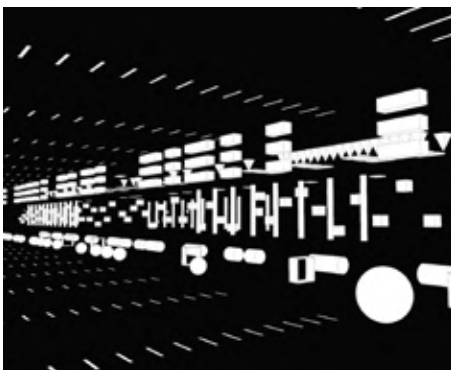
TIME TABLE

13:40 開場
14:00 開始
15:20 終了

上映
作品

02

映像作家 大西景太の“音のかたち”



映像で見る“音のかたち”。注目の映像作家による
上映とトークに加え、VJライブが実現。

NHK「名曲アルバム+（プラス）」などで音色や音楽の構造を映像で視覚化する作品を発表し続ける注目の映像作家、大西景太。今年4月には「文字の視覚表現の探求」を目的に設立された東京TDC賞2022でグランプリを受賞されました。本プログラムでは代表作の上映とメイキングトークに加え、電子オルガンの生演奏とともに、J.S.バッハのフーガを映像化した『Fuga Nr.14 fis-moll BWV 883』のVJライブを行います。大西景太が送る“音のかたち”によって、バッハの音楽を「聴く」とともに「観る」発見の時間をご堪能ください。

VJライブ作品 「Fuga Nr.14 fis-moll BWV 883」
初演：2021年 彩の国さいたま芸術劇場「大塚直哉レクチャー・コンサート」

トーク
ゲスト



大西 景太 (映像作家)

音楽の構造や音の質感をアニメーションで表現する手法を用いて、映像インスタレーション作品やミュージックビデオ、TVコンテンツ制作に携わる。NHK名曲アルバム+「レクイエム／カルドゥー作曲」で東京TDC賞2022グランプリを受賞。法政大学デザイン工学部システムデザイン学科准教授。

電子
オルガン
演奏



吉村 怜子 (オルガン奏者)

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。その後、フランスのリヨン国立高等音楽院オルガン科卒業、同音楽院修士課程修了。在仏中は教会での演奏のほか、音楽フェスティバルに参加。帰国後は札幌を拠点に演奏活動を行う。

10/8
SAT

¥1,000

TIME TABLE

15:40 開場
16:00 上映開始
17:50 上映終了
18:30 トーク終了

上映
作品

03

音の映画 アノーチャ・スウィチャー『暗くなるまでには』
ゴーンボン監督



© Electric Eel Films

監督：アノーチャ・スウィチャー・ゴーンボン
2016年/タイ・オランダ・フランス・カタール/105分/
タイ語音声・日本語字幕 協力：Asian Film Joint
日本語字幕：大西公子
字幕協力：大阪アジア映画祭

トーク
ゲスト



樋口 泰人 (映画批評家・boid主宰・爆音映画祭プロデューサー)

映画批評家、boid主宰、爆音映画祭プロデューサー。90年代に「カイエ・デュ・シネマ・ジャポン」編集長を経て、自身のレーベル「boid」を設立。04年より音楽用のライブ音響システムを使用した「爆音上映」シリーズを開始、以降「爆音映画祭」として全国に展開。「映画は爆音でさやく」などの著書多数。

北海道初公開！タイ発、アピチャップン監督に続く。
スリリングに身体を貫き通す「音の映画」。

世界で数々の映画賞を受賞するなど、タイで注目を集める映画監督アノーチャ・スウィチャー・ゴーンボン。1976年、タイでは左派学生と市民活動家らの集会を警察組織が攻撃し、百人以上の死者を出す虐殺事件が起こった。映画はこの集会に参加した女性作家へのインタビューから始まる。過去と現在、虚構と現実、記憶と空間を交錯させて既存の映画文法をスリリングに逸脱していく圧巻の演出は、彼女の国際的な評価を決定づけ、日本でも大阪アジア映画祭、アジアフォーカス・福岡国際映画祭、恵比寿映画祭などで上映されている。終了後、映画批評家の樋口泰人氏による解説を行います。

10/9
SUN

¥500

TIME TABLE

12:40 開場
13:00 上映開始
14:50 上映終了

上映
作品

04

『スクール・オブ・ロック』



© TM & Copyright
© 2003 by PARAMOUNT PICTURES. All Rights Reserved. TM,
& Copyright
© 2004 by Paramount Pictures. All Rights Reserved.

これぞロック魂と生きる希望。
ロックの名曲の数々に心が震えるコメディ映画の傑作！

「笑って泣ける」の言葉が最もふさわしい、コメディ映画の傑作を爆音上映。ロックを愛するギタリストのデューイは、成功を夢見ながらもバンドを追放されてしまう。反体制な生き方を貫く無職の彼は、ひよんなきっかけで親友になりすまし、名門私立小学校の臨時教師として潜り込む。そこで子供たちにロックを教え、バンドバトルに出演しようとするがー。レッド・ツェッペリン、ザ・フー、ドアーズなど、映画を彩る名曲の数々。そしてロック魂と生きる希望を体現したジャック・ブラックに、心の底から熱くなる！

監督：リチャード・リンクレイター 2003年/アメリカ/108分/英語音声・日本語字幕
提供：株式会社ムービーマネジメントカンパニー
爆音監修：株式会社boid 樋口泰人

10/9
SUN

¥1,800

TIME TABLE

15:10 開場
15:30 上映開始
16:40 上映終了
17:45 トーク終了

上映
作品

05

映画をつくる劇伴音楽の力 『ワンダーウォール 劇場版』上映
+ゲスト 岩崎太整 (作曲家)



© NHK

アカデミー賞受賞歴をもつ作曲家、
岩崎太整が語る映画に欠かせない劇伴の魅力。

「劇伴(げきばん)」とは、映画やテレビドラマ、演劇、アニメなど、視覚作品に合わせて流される音楽のこと。音楽一つで印象も意味も変わってしまう、映画を構成する上で欠かせない劇伴とは、所謂BGMとはどのように違い、一体どのような流れで制作されているのでしょうか。本プログラムでは、札幌出身であり、日本アカデミー賞最優秀音楽賞の受賞歴をもつ人気作曲家の岩崎太整を迎え、音楽を担当した『ワンダーウォール 劇場版』の上映とメイキングトークのほか、音楽が印象深い映画の紹介など、劇伴の魅力について迫ります。

監督：前田悠希 音楽：岩崎太整 2020年/日本/68分/日本語音声
配給：SPOTTED PRODUCTIONS

トーク
ゲスト



岩崎 太整 (劇伴作家)

映画・ドラマ・アニメ等の音楽を手掛ける作曲家。代表作に『SR サイタマノラッパー』シリーズ、『モテキ』、スタジオジブリ『巨神兵東京に現わる』、『ジョーカー・ゲーム』、アニメ『血界戦線』シリーズ、アニメ『ひそねとまそたん』、Netflixオリジナルドラマ『全裸監督』シリーズ、映画『竜とそばかすの姫』等がある。映画『モテキ』で、第35回日本アカデミー賞 優秀音楽賞を受賞。映画『竜とそばかすの姫』で、第45回日本アカデミー賞 最優秀音楽賞を受賞。